

目指す学校像・教育課題

一人一人が輝く学校、笑顔あふれる学校 モスクワ日本人学校でなければできない教育の推進

協力して学び、考えることを楽しむ子（知）

- 1 学び合い、高め合う授業づくりの推進（学習指導）
 - 学習の基盤としての「聴き合う力」の育成
 - 主体的・対話的で深い学びの実現を図る単元構成・学習課題・学習過程の工夫
- 2 かかわり、考え、表現する学びづくり（総合的な学習の時間）
 - 育てたい資質・能力を明確にした探究活動の充実
 - モスクワの特色を生かした体験活動の充実
- 3 質の高いコミュニケーションづくり（職員研修）
 - 「学校力」「教師力」の向上を図る授業研究（ワークショップ研修）の充実
 - 授業づくりOJTの計画的な推進

相手のことを考えて行動する子（徳）

- 1 一人一人が生きる学級づくり（学級経営）
 - ルールとリレーションのある学習集団づくりの計画的推進
 - 児童が参画する学習集団づくりの計画的推進
- 2 確かな絆づくり（生徒指導）
 - いじめ防止基本方針に基づく全校体制による取組の充実
 - どの子も安心して過ごせる居場所づくりの充実
- 3 豊かな人間関係づくり（特別活動）
 - 児童・生徒の自発性や自主性を生かしたモス日活動の展開
 - 互いを認め合う振り返りの場の設定

◆国際理解教育（グローバルな視点をもった児童生徒の育成）

- 現地校、同居校との交流活動推進（相互理解を深めるための感性の育成）
- 相手意識をもったコミュニケーション能力の育成（グローバル時代の対話力）
- 異文化理解につながるロシア語・英語授業の充実

◆進路指導（キャリア教育）

- 生き方指導としての進路指導の計画的・継続的な実施
- 積極的な情報収集と適切な進路指導の推進
- ジャパンプラブ等と連携した体験活動の推進

◆小・中連携と「ちびっ子会」との連携

- 小学部と中学部が連携した教育活動の推進
- ちびっ子会と連携した交流活動の推進

◆ICT教育

- 情報通信技術を活用した個別学習と協働学習の推進
- 情報モラル教育の推進

重点目標と資質・能力を育む「知・徳・体」の取組

学校教育目標・めざす子ども像

新しい日本の将来をになう児童生徒の育成

- ◎意欲をもって学ぶ子（知）
- ◎仲よく助け合う子（徳）
- ◎丈夫で元気な子（体）
- ◎モスクワでの生活を豊かにする子（国際理解）



育みたい資質・能力

- ◆生涯にわたって学ぶ力 学習意欲。主体的に課題解決に取り組む力
- ◆情報活用力 知識や情報を生かし考えを整理・活用する力
- ◆コミュニケーション力 他者と積極的に関わり、傾聴・対話する力
- ◆創造性 多様な他者と協働し、よりよい生活を創っていく態度
- ◆自律性 めあてに向かって最後までやり抜く力
- ◆共生的な態度 周りの人たちと協調し、関係をよりよくしていく態度
- ◆郷土を愛する心 日本の文化と伝統への愛着と誇り

資質・能力を育む各種教育の充実と新しい教育の展開

健康づくりに進んで取り組む子（体）

- 1 楽しい授業づくり（体育指導）
 - 運動の量と質を確保した楽しい体育学習の充実
 - 運動特性に基づく学習内容や場づくりの工夫
- 2 めあてをもった体力づくり（基礎体力づくり）
 - 児童生徒の実態に基づく計画的な体力づくりの推進
 - 個人記録カードの活用等による継続意識の高揚
- 3 よりよい生活習慣づくり（健康づくり）
 - 早寝早起き、メディアコントロールの取組の充実
 - 家庭と連携した生活リズムづくりの充実

◆特別支援教育

- ユニバーサルデザインに基づく授業づくりの推進
- 個別の指導計画作成、活用、評価、改善

◆道徳教育

- 魅力的な道徳の時間の展開
- 保護者と連携した道徳教育の推進

◆カリキュラム・マネジメント

- 子どもの視点に立った教育課程の編成・実施・評価の実施
- 教科等横断的な視点に立った学習指導の展開

◆学校評価

- 学校評価検討委員会の機能発揮
- 計画的な学校評価実施
- 保護者アンケートと教職員評価の充実

モス日教育の基盤

- ◎危機管理体制の充実による児童生徒の安全確保
- ◎日本国大使館・学校運営委員会・ジャパンプラブと連携した学校運営
- ◎保護者と連携した教育活動
- ◎社会に開かれた教育課程の編成
- ◎学校財務の適切な管理